

公益財団法人日本ハンドボール協会 2024年4月常務理事会 議事録

日時 2024年4月20日(土) 14:00~17:20
場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 会議室およびリモート (Zoom ミーティング)
出席者 金丸恭文会長、中村和哉副会長、宮本英範専務理事、
荷川取義浩常務理事、田中俊行常務理事、藤本元常務理事、福島亮一常務理事、
工藤雄三常務理事、加藤晃常務理事
<監事>江成元伸監事、大橋則一監事 ※ _____ はリモート出席
<事務局>清水事務局長、家永、羽田、沖山
欠席者 野呂洋子副会長、高野修常務理事、山田永子常務理事

【審議事項】

- 第0号議案 前回議事録の承認
第1号議案 令和5年度日本協会表彰(案)

【報告事項】

1. 行動規範の改訂
2. プレイヤーズ向けFTEMの作成と今後の活用方法
3. デフハンドボール報告①デフリンピック②全国調査結果
4. 2025年以降の日本代表カラー及びコンセプト
5. ①日本代表壮行試合/②JAPAN CUP 2024 実施概要・収支案
6. 春の中学生大会収支決算報告
7. その他

議事の経過の概要および議決の結果

(1) 理事会成立の確認

清水事務局長より、本理事会はWEB会議システム(Zoom ミーティング)を用いて行われ、出席者とは互いに音声・映像が即時に伝わること、適時的確に意見表明ができること、並びに常務理事総数12名のうち出席者9名であり、過半数以上の出席があり、定数を満たしているため、本常務理事会が成立していることが確認された。

(2) 議長の選出

定款第40条第1項に定めに従い、金丸会長が議長となった。

(3) 議事録署名人の選出

次に議事録署名人の選出が行われ、議長、江成監事、大橋監事が議事録署名人となった。

(4) 審議事項および結果

第0号議案 前回議事録の承認

宮本専務理事より、3月に2回、4月に開催された開催された臨時理事会(計3回分)の議事録案について承認を諮ったところ、全員一致で承認された。

第1号議案 令和5年度日本協会表彰（案）

宮本専務理事の指名により、羽田事務局員から資料に基づき説明があった。

審議の結果、常務理事以上就任者で任期満了した方を追加、アジアの大会以下の開催協力いただいた県協会は除く（感謝状対応）こととして、再提案することとなった。併せて、表彰規程の改訂により表彰対象者の基準を今まで以上に明確に提案することとなった。

（5）報告事項

1. 行動規範の改訂

荷川取常務理事より資料に基づき説明があった。インテグリティ委員会、河本弁護士の協力の下、文面を整理したものを本会議メンバーにメールベースで連絡、確認するとともに、英文への翻訳を行い外国籍監督とも共有することとなった。また、海外選手についても当協会登録していることを規程する方法を検討する。

2. プレイヤーズ向け FTEM の作成と今後の活用方法

田中常務理事より資料に基づき説明があった。当報告を了承した。

3. デフハンドボール報告①デフリンピック②全国調査結果

藤本常務理事より資料に基づき説明があった。当報告を了承した。審判団の統括は福島常務理事として、情報共有を進めるとともに日本代表チームの結成については強化本部で監督、選手選考を進めることを確認した。

===（休憩5分）===

4. 2025年以降の日本代表カラー及びコンセプト

宮本専務理事より資料に基づき説明があった。当報告を了承した。

5. ①日本代表壮行試合/②JAPAN CUP 2024 実施概要・収支案

宮本専務理事より資料に基づき説明があった。当報告を了承した。また、JHL チームへの協賛依頼については、強化協力金やコンプラ問題を含めて訪問の上、丁寧に説明が必要であること、JAPAN CUP 2024 については、ジークスター東京との共催（合同開催）とすること、キャッシュフローの厳しい時期と重なる可能性が高いので留意すること等の意見が出た。

6. 春の中学生大会収支決算報告

清水事務局長より資料に説明があった。当報告を了承した。また、3会場開催と判明した時点で再度予算を組むべきであったこと、JHA で経費のコントロールが不十分だったこと、クラウドファンディングの公表方法等の意見が出た。

7. その他

加藤常務理事より、一次補正予算に際して地方への補助金の増額希望があること、地方協会が予算申請できる仕組みを作りたい旨の意見があった。また、来年度以降の日本選手権の実施案について、早めに動く必要があり、大会運営・工藤常務理事、競技本部・高野常務理事が近々動く予定であると工藤常務理事から発言があった。

大橋監事より、資料の誤記等の修正は速やかに実施すること、差戻などの案件については議事録に記載のある時期までに必ず報告等を実施するように意見があった。また、春中の

クラウドファンディングでは、都道府県協会には「お願いはあるがお礼がない」との意見もあるので、きちんとレター等での対応が必要。さらに「評議員の定年」について評議員選定委員会並びに評議員会から見直し依頼があったので議論が必要であり、6月30日の定時評議員会で必ず確認されることもあるので、遅くとも6月8日理事会ではきちんと議論するように、との意見があった。資料の修正については、修正後にはメール等でお知らせすることを徹底するよう宮本専務理事から指示があった。

藤本専務理事より、代表監督、代表選手の選考について、基準等を理事会できちんと報告すべきとの意見があった。宮本専務理事からは、男子代表監督については3月臨時理事会等で男子日本代表監督については担保できている旨の回答があった。また、U-24についてもFTEMへの記載がなくシニアBとする等の検討して欲しい旨の発言があった。

荷川取専務理事より、強化育成本部としてパリ五輪後の男子日本代表監督について契約を進める上での条件についての承認を得たいので、5月の常務理事会を理事理事会に変更して欲しいとの意見があり、臨時理事会に変更する予定で調整していくこととなった。

予定していた議案についてすべて終了したので17時20分に2024年4月常務理事会は閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに署名、押印する。

2024年4月20日

公益財団法人日本ハンドボール協会 2024年4月常務理事会

議長 金丸 恭文 印

議事録署名人 江成 元伸 印

同 大橋 則一 印